

# 委託事業実施内容報告書

## 平成25年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業 【地域日本語教育実践プログラム(B)】

受託団体名 (公財)石川県国際交流協会

### 1. 事業名称 「ようこそ石川日本語クラス」普及事業

### 2. 事業の目的

地域日本語教室における初期日本語教育クラスの教材を作成し、その使い方や教室の運営体制についてモデルを作り上げ、県内の各教室で共有する。

### 3. 事業内容の概要

県内の地域日本語教室に対して、当協会作成の初級日本語教材「ようこそほんごへ」や、「標準的なカリキュラム案」を使った教室活動を紹介し、各教室の日本語授業の参考としてもらう。活動報告会、教材の共有を通して、県内教室間で課題を共有し、情報のやりとりを活発化させる。

### 4. 運営委員会の開催について

#### 【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成25年5月27日 13:00-14:30	1.5時間	リファーレ研修室	今井武、鹿野みどり、田中裕子、中田春日、寺崎祐子、	「ようこそほんごへ」を使った初級者クラス「ようこそ石川日本語クラス」前期クラスの反省	前期クラス授業での学習者の反応、反省点、課題について話し合った。
2	平成25年6月15日 13:00-14:30	1.5時間	リファーレ研修室	今井武、鹿野みどり、田中裕子、中田春日、寺崎祐子、	「ようこそほんごへ」を使った初級者クラス「ようこそ石川日本語クラス」前期クラスの反省	引き続き、「ようこそほんごへ」を使う上での課題や効果的な使い方について検討を行った。
3	平成25年10月4日 13:00-15:00	2時間	リファーレ研修室	金谷由美、田中裕子、山森通子	「ようこそほんごへ」を使った初級者クラス「ようこそ石川日本語クラス」後期クラス開講に向けての準備	前期の反省を踏まえ、後期クラスでどのようにクラス運営を行っていくか
4	平成25年10月28日 13:30-16:30	3時間	リファーレ研修室	金谷由美、田中裕子、山森通子	「ようこそほんごへ」を使った初級者クラス「ようこそ石川日本語クラス」後期クラス中間での反省会	後期クラスの様子とクラス運営の軌道修正
5	平成25年12月4日 13:30-15:30	2時間	リファーレ研修室	金谷由美、田中裕子、山森通子	「ようこそほんごへ」を使った初級者クラス「ようこそ石川日本語クラス」後期クラスの反省	終了後のクラスの様子と前期と比べての授業の効果の違いなど
6	平成25年12月12日 11:00-13:00 15:30-16:30	3時間	リファーレ研修室	今井武、山森通子、田中裕子、金谷由美	「ようこそほんごへ」を使った初級者クラス「ようこそ石川日本語クラス」後期クラスの反省	「ようこそほんごへ」を使った各課の教室活動の見直し、注意点、課題の洗い出し。
7	平成26年1月20日 13:00-15:00	2時間	リファーレ研修室	今井武、山森通子、田中裕子、金谷由美	「ようこそほんごへ」の教材の整理法・今後の活用について	今後、IFIEにおいて同教材を使う際の基本的な方針と来年度に向けての課題
8	平成26年3月7日 16-17:00	1時間	白山市国際交流サロン	今井武、木下伸一、伊藤三津子、七浦禎蓮、中嶋真美、角田雅子	日本語サポーター研修会の内容及び意義についての意見交換	輪島、白山での教室内の研修会についての感想を聞き、今後の研修会の希望を聞いた。

### 5. 取組についての報告

#### ○取組1: 「ようこそ石川日本語クラス」地域版作成

##### (1) 体制整備に向けた取組の目標

今回の事業実施日本語教室において、授業の全てあるいは一部を「ようこそ石川日本語クラス」地域版で検討・実施した内容に置き換え、初期の日本語教育が必要な外国人住民が日本語教室に加わった場合にも、必要最低限の初期日本語教育が行える体制を目指す。

○追加事項: 上記内容に、「標準的なカリキュラム案」も選択肢の一つとして紹介した。

## (2) 取組内容

IFIEで企画・実施した「ようこそ石川日本語クラス」の地域版を、IFIE日本語講師および各日本語教室の担当者が協力して、企画・実施する。

「ようこそ石川日本語クラス」のコンセプトや実施内容を、各実施教室の日本語サポーターを対象として、説明・研修することで、授業に生かしてもらおう。またカリキュラムや教材、実施・運営の方法などを各教室の実情や状況に合わせて改変する。

また、防災、医療、教育など外国人住民の日本での生活に影響の大きい分野を選び、各地域の専門家に講義を実施してもらおう。歴史が短く地域内での日本語教室外との連携が少ない地域には、この講座を通して地域内の連携体制を作る助けとしてもらう。

○追加事項：各教室の状況・要望に応える形で、研修を実施したほとんどの教室で、今回は「ようこそ石川日本語クラス」で使用した教材「ようこそほんごへ」と「標準的なカリキュラム案」の紹介に留め、まずは各教室での活動内容の選択の幅を増やしてもらうことを主眼とした。

## (3) 対象者 県内の地域日本語教室

## (4) 参加者の総数 55人

(出身・国籍別内訳 日本52人、台湾2人 カナダ人1人 )

## (5) 開催時間数(回数) 35.5時間 (全18回)

## (6) 取組の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師等氏名	補助者氏名
1	1月14日	1	カメラアホール	7	日本7	「指導力評価」	標準的なカリキュラム案「指導力評価」を利用して教室の活動を振り返る。	今井武(講師)	
2	2月4日	2	カメラアホール	6	日本6	「標準的なカリキュラム案」の紹介	「標準的なカリキュラム案」の概要の説明、教材例集を例として授業での取り扱い方を演習を交え研修。	今井武(講師)	
3	2月18日	2	カメラアホール	6	日本6	「ようこそほんごへ」の紹介	IFIE作成教材「ようこそほんごへ」の紹介。	今井武(講師)	
4	11月24日	1.5	ラポルトすず	4	日本4	日本語授業の観察、講師との意見交換	通常の日本語授業に参加し、授業の内容と学習者の様子を観察。アドバイスを伝える。	今井武(講師)	
5	12月13日	2	ラポルトすず	6	日本5、台湾1	「標準的なカリキュラム案」の紹介	「標準的なカリキュラム案」の概要の説明、教材例集を例として授業での取り扱い方を演習を交え研修。	今井武(講師)	
6	12月20日	2	ラポルトすず	6	日本6	「ようこそほんごへ」の紹介	IFIE作成教材「ようこそほんごへ」の紹介。	今井武(講師)	
7	12月16日	2	ふれあい健康センター	5	日本4、台湾1	「標準的なカリキュラム案」の概要	「標準的なカリキュラム案」概要の紹介。「指導力評価」の実施。	今井武(講師)	
8	1月8日	2	ふれあい健康センター	6	日本6	「標準的なカリキュラム案」活動紹介1	「標準的なカリキュラム案」活動例集から活動を紹介し、活動を体験する。	今井武(講師)	
9	1月10日	1.5	ふれあい健康センター	6	日本6	日本語授業の観察、講師との意見交換	通常の日本語授業に参加し、授業の内容と学習者の様子を観察。アドバイスを伝える。	今井武(講師)	
10	1月23日	2	ふれあい健康センター	5	日本4、台湾1	「標準的なカリキュラム案」活動紹介2	「標準的なカリキュラム案」活動例集から活動を紹介し、活動を体験する。	今井武(講師)	
11	2月6日	2	ふれあい健康センター	6	日本6	「ようこそほんごへ」活動紹介1	IFIE作成教材「ようこそほんごへ」の紹介と活動の体験。	今井武(講師)	
12	2月13日	2	ふれあい健康センター	5	日本4、台湾1	「ようこそほんごへ」活動紹介2	IFIE作成教材「ようこそほんごへ」の紹介と活動の体験。	今井武(講師)	
13	2月8日	2.5	大桑町集会場	10	日本10	教室活動の例紹介	「標準的なカリキュラム案」と「ようこそほんごへ」について概要と活動内容の紹介。	今井武(講師)	
14	2月14日	2	白山市国際交流サロン	10	日本10	「標準的なカリキュラム案」の紹介	「標準的なカリキュラム案」の概要の説明、教材例集を例として授業での取り扱い方を演習を交え研修。	今井武(講師)	
15	2月20日	2	白山市国際交流サロン	10	日本10	「ようこそほんごへ」の紹介	IFIE作成教材「ようこそほんごへ」の紹介。	今井武(講師)	
16	2月27日	2.5	寺井地区公民館	12	日本11、カナダ1	「標準的なカリキュラム案」の紹介	「標準的なカリキュラム案」の概要の説明、教材例集を例として授業での取り扱い方を演習を交え研修。	今井武(講師)	
17	3月6日	2.5	寺井地区公民館	10	日本9、カナダ1	「ようこそほんごへ」の紹介	IFIE作成教材「ようこそほんごへ」の紹介。	今井武(講師)	

18	3月18日	2	ふれあい健康センター	4	日本3、台湾1	「標準的なカリキュラム案」を使った地域版作成	小グループに分かれ、学習者を想定し、地域版を考えた。	今井武(講師)	
----	-------	---	------------	---	---------	------------------------	----------------------------	---------	--

(7) 参加者の募集方法

「日本語サポーター研修会」は県内各教室及び自治体の国際交流・多文化共生担当者にメール等でチラシを送付。各会場での受講者の募集は各教室・各自治体に依頼した。

(8) 特徴的な活動風景(2~3回分)

例: 輪島日本語教室

- ①「標準的なカリキュラム案」から「指導力評価」実施。(第1回)
- ②「標準的なカリキュラム案」から教材例を紹介し、体験授業。(第2回)
- ③コーディネーターが現地に出向き、普段の授業を見学。参加学習者を観察。(第3回)
- ④前回の観察から同教室での授業の提案
- ⑤「ようこそほんごへ」を紹介、体験授業(第4回)
- ⑥「標準的なカリキュラム案」「ようこそほんごへ」を参考にして、具体的な学習者を想定して授業を考えてみる。(第5回)
- ⑦メーリングリストを通じて、その後の授業のフォローを行う。



(9) 取組の目標の達成状況・成果

当初はIFIEの日本語クラスで「ようこそほんごへ」を使用し、その際のノウハウと教材を県内日本語教室に提供しようと計画していた。

しかし、IFIE日本語クラスはレベル別の学校型のクラス運営/授業を実施してきており、教材を主にパワーポイントで作成するなど、地域の教室とは授業の運営や教材の構成などが異なっており、ノウハウや教材をそのまま地域に移行することはできなかった。また、地域日本語教室も、多くは2回程度の短期の研修を希望し、各地域/教室に合った内容を考えるには回数も不十分であった。

そのため、今回は「ようこそほんごへ」と「標準的なカリキュラム案」の紹介を中心に研修を行う形に方向修正を行った。運営委員会や各教室のサポーターからの感想を聞いてみると、交流型の授業の行き詰まりが課題となっている教室でも、「みんなの日本語」を使った授業にいかに幅を広げるかに苦労していた教室でも、二つの提案は好意的に受け止められた。教室内で協働して授業内容を見直す具体的な動きにまではつながらなくとも、一部のサポーターに自分たちの授業や教室を見直し、二つの提案を授業に取り入れてみようという動きが見られた。

同様の研修会も次年度以降も継続的に実施し、各教室間の情報交換の場を設けることについても希望が聞かれた。

(10) 改善点について

各教室とも自分たちの活動内容を見直すための具体的な提案や手段の提供を希望していた。

教材の紹介等を研修で行うことはできるが、それらを実際の授業や教室活動に役立てるためには、各教室/地域に合ったものに見直す作業が不可欠と思われる。その際には適切に見直しを行うため、コーディネーター等の助言が必要と思われる。このような研修会においては、研修そのものだけでなく、研修前後に各教室の授業にコーディネーターが参加しアドバイスを与えることが必要と感じられた。

○取組2:「ようこそ石川日本語クラス」改定事業

(1) 体制整備に向けた取組の目標

経験の浅い日本語教師、日本語サポーターでも使いやすい教材作りと教室運営を目指し、現行の教材の改定および解説、翻訳等を充実させる。

(2) 取組内容

平成24年度に作成した「ようこそ石川日本語クラス」の内容を、(財)石川県国際交流協会日本語教室において実施しながら改定を行う。

特に、各地域で使用するには、日本語サポーターに対する授業の進め方の解説や語彙等の各国語訳が必須であり、経験の浅い日本語教師や日本語サポーターでも、それほど授業の準備をしなくても使用できる内容に洗練させる必要がある。

また、講師および受講者より要望が多かった「読み書きクラス」も開催し、「ようこそ石川日本語クラス」と内容を連携させる。

○「読み書きクラス」は受講希望者おらず、実施せず。

(3) 対象者

(公財)石川県国際交流協会日本語教室の授業を担当する石川県日本語講師会講師及び参加学習者

## (4) 参加者の総数 26人

(出身・国籍別内訳

)

タイ4人、トルコ1人、オーストラリア4人、フランス1人、ブラジル1人、中国4人、韓国1人、セルビア1人、ネパール1人、ジンバブエ1人、アメリカ3人、カナダ2人、アイルランド1人、パキスタン1人、

## (5) 開催時間数(回数) 54時間 (全36回)

## (6) 取組の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師等氏名	補助者氏名
1	平成25年5月16日9:00-10:30	1.5時間	リファーレ研修室	1人	タイ1	12.ふるさとの思い出	自国のふるさとの位置や有名なものについて説明する。	田中裕子	
2	平成25年5月16日17:00-18:30	1.5時間	リファーレ研修室	6人	トルコ1、タイ1、オーストラリア2、フランス1、ブラジル1	12.ふるさとの思い出	自国のふるさとの位置や有名なものについて説明する。	鹿野みどり	
3	平成25年5月21日9:00-10:30	1.5時間	リファーレ研修室	1人	タイ1	13.季節・行事	金沢やタイの季節・行事について説明する。	中田春日	
4	平成25年5月21日17:00-18:30	1.5時間	リファーレ研修室	5人	トルコ1、タイ1、オーストラリア2、ブラジル1	13.季節・行事	金沢やタイの季節・行事について説明する。	寺崎祐子	
5	平成25年5月23日9:00-10:30	1.5時間	リファーレ研修室	1人	タイ1	14.健康	体調を説明したり、健康について気を付けていることを説明する。	田中裕子	
6	平成25年5月23日17:00-18:30	1.5時間	リファーレ研修室	5人	トルコ1、タイ1、オーストラリア2、ブラジル1	14.健康	体調を説明したり、健康について気を付けていることを説明する。	鹿野みどり	
7	平成25年5月28日9:00-10:30	1.5時間	リファーレ研修室	1人	タイ1	15.家計	消費生活や誕生日のプレゼントについて話す。	中田春日	
8	平成25年5月28日17:00-18:30	1.5時間	リファーレ研修室	5人	トルコ1、タイ1、オーストラリア2、ブラジル1	15.家計	消費生活や誕生日のプレゼントについて話す。	寺崎祐子	
9	平成25年5月30日9:00-10:30	1.5時間	リファーレ研修室	1人	タイ1	16.旅行	過去の旅行、これから行きたい場所について話す	田中裕子	
10	平成25年5月30日17:00-18:30	1.5時間	リファーレ研修室	6人	トルコ1、タイ1、オーストラリア2、フランス1、ブラジル1	16.旅行	過去の旅行、これから行きたい場所について話す	鹿野みどり	
11	平成25年10月9日9:00-10:30	1.5時間	リファーレ研修室	5人	中国2、韓国1、セルビア1、ネパール1	1.人と出会う	挨拶、自己紹介	山森通子	
12	平成25年10月11日9:00-10:30	1.5時間	リファーレ研修室	5人	中国2、韓国1、セルビア1、ネパール1	2.家族	家族の住所、趣味、人数を説明する	田中裕子	
13	平成25年10月11日17:00-18:30	1.5時間	リファーレ研修室	10人	ジンバブエ1、アメリカ2、カナダ2、中国2、オーストラリア1、タイ1、アイルランド1	2.家族	家族の住所、趣味、人数を説明する	金谷由美	
14	平成25年10月16日9:00-10:30	1.5時間	リファーレ研修室	5人	中国2、韓国1、セルビア1、ネパール1	3.近所	自分の家の近所にどんなお店があるか説明する	田中裕子	
15	平成25年10月16日17:00-18:30	1.5時間	リファーレ研修室	11人	ジンバブエ1、アメリカ2、カナダ2、中国2、オーストラリア1、タイ1、アイルランド1、パキスタン1	3.近所	自分の家の近所にどんなお店があるか説明する	山森通子	
16	平成25年10月18日9:00-10:30	1.5時間	リファーレ研修室	5人	中国2、韓国1、セルビア1、ネパール1	4.家	自宅の場所、様子を説明する	田中裕子	
17	平成25年10月18日17:00-18:30	1.5時間	リファーレ研修室	13人	ジンバブエ1、アメリカ2、カナダ2、中国3、オーストラリア1、タイ2、アイルランド1、パキスタン1	4.家	自宅の場所、様子を説明する	金谷由美	
18	平成25年10月23日9:00-10:30	1.5時間	リファーレ研修室	5人	中国2、韓国1、セルビア1、ネパール1	5.私の一週間	一週間の予定、どこへ出かけるか説明する	山森通子	
19	平成25年10月25日9:00-10:30	1.5時間	リファーレ研修室	5人	中国2、韓国1、セルビア1、ネパール1	6.私の一日	一日の予定を説明する	田中裕子	
20	平成25年10月25日17:00-18:30	1.5時間	リファーレ研修室	12人	ジンバブエ1、アメリカ2、カナダ2、中国3、オーストラリア1、タイ1、アイルランド1、パキスタン1	6.私の一日	一日の予定を説明する	金谷由美	

21	平成25年10月30日9:00-10:30	1.5時間	リファーレ研修室	4人	中国2、韓国1、ネパール1	7. 買い物	いつもどんなお店で何をかうか説明する	田中裕子	
22	平成25年11月1日9:00-10:30	1.5時間	リファーレ研修室	4人	中国2、韓国1、ネパール1	8. 持ち物	どんな持ち物があるか、どんな物が欲しいか説明する	山森通子	
23	平成25年11月1日17:00-18:30	1.5時間	リファーレ研修室	9人	ジンバブエ1,アメリカ2,カナダ1,中国2,オーストラリア1,アイルランド1,パキスタン1	8. 持ち物	どんな持ち物があるか、どんな物が欲しいか説明する	金谷由美	
24	平成25年11月6日9:00-10:30	1.5時間	リファーレ研修室	6人	中国2、韓国1、セルビア1、ネパール1、アメリカ1	9. 特技	特技や趣味について説明する	山森通子	
25	平成25年11月6日17:00-18:30	1.5時間	リファーレ研修室	10人	ジンバブエ1,アメリカ2,カナダ1,中国2,オーストラリア1,タイ1,アイルランド1,パキスタン1	9. 特技	特技や趣味について説明する	山森通子	
26	平成25年11月8日9:00-10:30	1.5時間	リファーレ研修室	6人	中国2、韓国1、セルビア1、ネパール1、アメリカ1	10. 食べ物	食べ物の好き嫌いやどんな料理ができるか説明する	田中裕子	
27	平成25年11月8日17:00-18:30	1.5時間	リファーレ研修室	10人	ジンバブエ1,アメリカ2,カナダ1,中国2,オーストラリア1,タイ1,アイルランド1,パキスタン1	10. 食べ物	食べ物の好き嫌いやどんな料理ができるか説明する	金谷由美	
28	平成25年11月13日9:00-10:30	1.5時間	リファーレ研修室	5人	中国2、韓国1、ネパール1、アメリカ1	11. 私のこれまで	出身、住んだ場所について説明する	山森通子	
29	平成25年11月15日9:00-10:30	1.5時間	リファーレ研修室	5人	中国2、韓国1、ネパール1、アメリカ1	12. ふるさとの思い出	自国のふるさとの位置や有名なものについて説明する。	金谷由美	
30	平成25年11月15日17:00-18:30	1.5時間	リファーレ研修室	9人	ジンバブエ1,アメリカ2,カナダ1,中国2,オーストラリア1,アイルランド1,パキスタン1	12. ふるさとの思い出	自国のふるさとの位置や有名なものについて説明する。	金谷由美	
31	平成25年11月20日9:00-10:30	1.5時間	リファーレ研修室	4人	中国1、韓国1、ネパール1、アメリカ1	13. 季節・行事	金沢やタイの季節・行事について説明する。	田中裕子	
32	平成25年11月22日9:00-10:30	1.5時間	リファーレ研修室	4人	中国1、韓国1、ネパール1、アメリカ1	14. 健康	体調を説明したり、健康について気を付けていることを説明する。	山森通子	
33	平成25年11月22日17:00-18:30	1.5時間	リファーレ研修室	9人	ジンバブエ1,アメリカ2,カナダ1,中国2,オーストラリア1,アイルランド1,パキスタン1	14. 健康	体調を説明したり、健康について気を付けていることを説明する。	山森通子	
34	平成25年11月27日9:00-10:30	1.5時間	リファーレ研修室	3人	中国1、ネパール1、アメリカ1	15. 家計	消費生活や誕生日のプレゼントについて話す。	山森通子	
35	平成25年11月29日9:00-10:30	1.5時間	リファーレ研修室	3人	中国1、ネパール1、アメリカ1	16. 旅行	過去の旅行、これから行きたい場所について話す	田中裕子	
36	平成25年11月29日17:00-18:30	1.5時間	リファーレ研修室	8人	ジンバブエ1,アメリカ2,カナダ1,中国1,オーストラリア1,アイルランド1,パキスタン1	16. 旅行	過去の旅行、これから行きたい場所について話す	金谷由美	

(7) 参加者の募集方法

募集チラシを県内日本語教室、国際交流団体、図書館、公民館に配布。協会で配布。

(8) 特徴的な活動風景(2~3回分)

13.季節・行事・風習

- ①日本では季節が四季に分かれていること。気温の変化について
- ②自国の季節はどうか、学習者の発表
- ③季節の食べ物について
- ④日本の年中行事の紹介
- ⑤自国の季節の食べ物、行事などを書き出し、発表

14.旅行

- ①今まで行った場所を各自発表
- ②旅行の感想を述べるための形容詞の確認
- ③自分の国を友だちが旅行するとき、どのようなアドバイスをするか  
「~だから、~してください」



(9) 取組の目標の達成状況・成果

授業を担当した講師とは、コース途中、コース後も含めて、運営委員会等で逐次授業内容の検討、見直しを行った。講師にとっても文法を中心とせず、学習者が日常接することの多い話題や場面を中心とした授業内容や進め方は初めてのケースが多く、戸惑いながらも、違ったアプローチの初級授業を考えていった。

しかしながら、授業が進むにつれ、地域日本語教室のモデル授業を作るという当初の意図からは徐々にずれが出てきた。担当講師はレベル別に分かれた学校型の授業に慣れているため、パワーポイントに画像を取り込んで授業を進めたり、学習者の自由な発言より正しい文型を使った発言を求めると、教室内の双方向的なやりとりを重視した授業とは少し離れてしまった。当協会での授業のように、複数の教師でコース運営を行う上では、パワーポイントを使って練習を定型化するのはある程度は仕方がなく、また教室活動のバリエーションが増えるなど一定の成果はあったものの、県内の地域日本語教室にそのまま教材を公開することはできなくなってしまった。

それでも、担当した講師からは、従来の文法学習を中心とした授業よりも、日本語能力差があるクラスでも対応がやさしく、学習者同士の意見交換も活発で、学習者同士の結びつきも強くなったと感想が聞かれ、このような形の授業について意義は感じ取ってもらえたようである。

(10) 改善点について

当協会の在住者向け日本語授業と地域の日本語教室では、講師の背景や授業のシステム、コースの目標などが異なっていることもあり、当協会の授業で作った教材を県内の各教室に提供することは少し無理があったようである。

コーディネーターの側で、当協会のようにレベル別に進級していくことを前提にしたクラスと、交流型を行っている地域の教室との間の接点を探し、双方に役立つ教材内容を設計し、使用の際はそれについて十分な説明を行ったうえで共有できるような教材や教室活動の開発を今後行っていきたい。

### ○取組3:「ようこそ石川日本語クラス」地域版実施の報告

(1) 体制整備に向けた取組の目標

県内各教室の代表者に集ってもらい、「ようこそ石川日本語クラス」について知ってもらうとともに、地域版作成・実施の取り組みを知ることで、各教室での取り組みに役立ててもらおう。

地域における初期日本語教育のひとつの例として「ようこそ石川クラス」を認知してもらい、連携、情報交換の基盤を作る。

参加する各教室の日本語サポーターには、他教室に対して発表を行うことで、自分たちの活動を紹介する場を提供するとともに、自分たちの活動への自尊心も持ってもらえるようにする。

(2) 取組内容

「ようこそ石川日本語クラス」の地域版を実施した各日本語教室代表者に集ってもらい、報告会を実施する。

報告は各教室の代表者が行き、各教室の状況、教材をどのように利用したか、どのような点を改定したか、今後の課題は何か等、他教室の教室運営にも役立つような内容とする。

(3) 対象者 県内の日本語教室のうち、「日本語サポーター研修会」を実施した教室を主たる対象

(4) 参加者の総数 15人

(出身・国籍別内訳 日本14人 台湾1人 )

(5) 開催時間数(回数) 2時間 (全 1回)

## (6) 取組の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師等氏名
1	平成26年3月7日14:00-16:00	2時間	白山市国際交流サロン	15人	日本15	各教室の現状及び「日本語サポーター研修会」の成果発表	「日本語サポーター研修会」を実施した教室のうち、3教室の代表者から報告発表を行い、参加者と意見交換を実施。	木下伸一(報告者) 伊藤三津子(報告者) 七浦禎蓮(報告者) 中島真美(報告者) 角田雅子(報告者) 山口茂樹(報告者) 米谷美穂(報告者)

## (7) 参加者の募集方法

今年度の「日本語サポーター研修会」に参加した各教室に告知し参加者を募った。

## (8) 特徴的な活動風景

会場だった白山市国際交流サロンを参加者全員で見学し、サロンの活動について少しお話を聞いた後、珠州市日本語教室2名、輪島日本語教室3名、白山市国際交流サロン2名から、各教室の活動や課題、日本語サポーター研修会の成果について報告があった。

3教室の報告後は、フロア側からも自分の教室の活動報告や、発表を聞いての質疑応答があった。



## (9) 取組の目標の達成状況・成果

今回の報告教室はそれぞれ歴史や活動場所の状況、講師の数、使用している教材等が異なっており、バラエティのある報告を聞くことができた。フロアからの意見も活発で、状況や課題の違いを各参加者が自分の教室の状況と比較して、建設的な意見交換が行えた。

会場を白山市国際交流サロンにしたことで、同サロンの活動について他教室からの参加者に知ってもらうことができた。同サロンは市からも支援を受け、自前の施設を持ち、活発な活動を行っており、他教室からの参加者にそれらを見てもらうことができたこと、今後も協力していきたいという声が多く聞かれたことも成果である。

## (10) 改善点について

今後、定期的に複数の教室が意見交換をする場を設けてほしいという声が複数の教室から聞かれた。また、能登地方にある教室だけを対象とした活動報告会、意見交換会の実施の希望もあった。今後、研修会とセットで実施するなど、各教室間が課題を共有し、参加することで各教室の活動にプラスになるような会を適宜実施できればと思う。

## 6. 事業に対する評価について

### (1) 事業の目的

地域日本語教室における初期日本語教育クラスの教材を作成し、その使い方や教室の運営体制についてモデルを作り上げ、県内の各教室で共有する。

見直し後：当協会で作成した初級クラス向け教材「ようこそほんごへ」や文化庁「標準的なカリキュラム案」を各教室で使用するための選択肢のひとつとして紹介し、その研修を通して各教室内で課題の共有を行う。

### (2) 事業目的の達成状況

当初計画していた、「ようこそほんごへ」の地域教室向けの内容の充実を当協会の授業を通して行うこと、「ようこそほんごへ」の地域版を作ることは、方向修正せざるを得なかった。

しかし、初級教材「ようこそほんごへ」は引き続き当協会の入門～初級レベルの教材として利用することが決まり、協会の講師間でも一定の評価は得られた。また、サポーター研修会を実施した県内各教室での「ようこそほんごへ」の評価も高く、早速授業で使用した、みんなの日本語の補完的な教材として有用だという声が聞かれた。

「日本語サポーター研修会」についても、こちらが想定していたよりも、ほとんどの会場で実施時間数、回数が少なかったのだが、新しい教材や教え方を紹介する研修は好評で、今後も開催してほしいという声が聞かれた。

「活動報告会」についても、かなり状況の違う教室の方が集まったのだが、きちんと課題をシェアすることができ、互いの教室の行き来や情報交換が有益であることを確認できた。

(3) 地域における事業の効果, 成果

当初に述べられた地域の実情・課題を踏まえて事業全体を振り返り, 具体的に記載すること。その際, 個々の取組が日本語教育の体制整備にどう寄与したか分かるように記載すること。

「ようこそほんごへ」と「標準的なカリキュラム案」を中心に紹介することで, 交流型の教室に対しても, 従来から「みんなの日本語」を中心に授業を行っている教室に対しても, 第三の選択肢を提示できたのではないかと思う。早速使ってみたという声がいくつか聞かれ, こちら側からもさらなるフィードバックを各教室に速やかに伝える必要性を感じた。それだけ, 今回の研修会を通じて, 各教室間, 協会と各教室との距離が縮まったと言えると思う。

(4) 改善点, 今後の課題について

i 現状

「ようこそほんごへ」はDropboxを通じて県内の各教室と共有されているが, 利用は限られている。協会内の講師にも「ようこそほんごへ」の, 従来の教材との違いについて十分に理解されていない部分がある。また, 「標準的なカリキュラム案」についても, 実際の授業で取り上げている教室はごく一部で, 内容の紹介や授業での使い方について, 今後も研修会等を通じて紹介していく必要がある。

ii 今後の課題

協会の「石川日本語教室ネットワークメンバーリングリスト」や各地で開催する研修会等を通して, 「ようこそほんごへ」や「標準的なカリキュラム案」について, 各教室で使うための情報を積極的に提供していく必要がある。メンバーリングリスト等を通じて, 課題の共有を行うことで, 各教室間の結びつきもさらに強めていくことができると思われる。しかしながら, 最終的には各教室に合わせた教材の修正や使い方をいっしょに考える機会が必要と思われる。そのため, 今後も各教室に出張し, 教室の様子を観察したうえで, 情報を提供し研修を行う機会を作っていきたいと思う。

iii 今後の活動予定

まず協会内の日本語教室でも, 学習者間のやりとりや交流に重点を置いた授業や, 「標準的なカリキュラム案」等を利用した生活上の行為を取り上げた授業を取り入れていきたい。

協会で教えている講師と協力して, 地域の各教室への研修を実施することで, 協会内でも地域の日本語教室の課題を共有できるようにしたいと思う。

さらに研修会を通して, 各地域日本語教室で, 自分たちに必要な教材や教室活動を自分たちで考えられるような力も身につけていってもらいたいと思っている。

(5) その他参考資料

次ページから

# 地域の日本語教室 日本語サポーター研修会 ～あなたの町に合った教材を作ってみませんか？～



地域の日本語教室では、どんな教材でどのような教室活動をすれば、日本語を初めて学ぶ人に上手になったと実感してもらえるのでしょうか。当協会でも昨年、初級者が楽しく無理なく学べる教材として「ようこそ にほんごへ」を作成しました。しかし、教材や授業の内容は、各教室の事情に合わせて考える必要があります。あなたの教室オリジナルの授業の進め方をいっしょに考えてみませんか。

## 研修会の内容（例）

- 石川県国際交流協会作成「ようこそ にほんごへ」の使い方講座
- 「ようこそ にほんごへ」等の教材の「私の町版」を作ってみる。
- 教室や学習者に合わせた文法や表現の教え方、練習の仕方を考える。
- 教室の人が集まって、日ごろの活動についてふりかえる機会を作る。など

募集教室数：	2～4教室
時間・回数：	応相談（実施可能期間 H26年3月上旬まで）
講師：	今井武（石川県国際交流協会専任講師）ほか
応募締め切り：	平成25年10月21日（月）
お願い：	応募団体には、会場の手配、参加者への連絡、事前ミーティングへの参加をお願いします。講師の謝金、旅費負担はありません。

## 問合せ・申込み先

(公財) 石川県国際交流協会 担当:今井武  
920-0853 石川県金沢市本町1-5-3 リファール3階  
電話 076-222-5931 ファックス 076-222-5932 koshi1@ifie.or.jp

**日本語サポーター研修会 実施申込書** \*必要事項をご記入の上、お送りください。

(公財) 石川県国際交流協会講師による日本語サポーター研修会の開催を希望します。

実施団体名： \_\_\_\_\_

代表連絡先：

フリガナ お名前：	
郵便物送付先：	〒 -
電話番号：	- -
ファックス番号：	- -
電子メールアドレス：	

研修会内容について

\*ご希望について、現在お分かりになる範囲で構いませんのでお答えください。

開催希望時期：	(例：10月下旬等)
曜日・時間：	(例：平日夜、土曜午前等)
1回の時間	(例：〇時～〇時、2時間等)
回数：	
会場：	
内容：	<input type="checkbox"/> 「ようこそほんごへ」の使い方 <input type="checkbox"/> 「ようこそほんごへ」等の教材の地域版を考える <input type="checkbox"/> 地域教室での文法の取り扱い方 <input type="checkbox"/> その他 _____ _____
そのほかのご要望：	

ファックス 076-222-5932 電子メール koshi1@ifie.or.jp 担当：今井



# いしかわにほんご ようこそ石川日本語クラス

「初めて日本語を勉強する人」や「日本語をもう一度最初からきちんと勉強したい人」のためのクラスです。

回数： 週 2回 (水曜日と金曜日)  
 時間： 朝クラス (9:00 ~ 10:30)  
 昼クラス (13:30 ~ 15:00)  
 夜クラス (17:00 ~ 18:30)  
 期間： 10月9日(水) ~ 11月29日(金) \* 4週間 × 2期

\* 学生が少ないときは、クラスを作ることができません。

\* このクラスの後には、スケジュールクラスレベル1 (初級) に入れます。

ほかにも いろいろなクラスがあります。  
 ひらがなを勉強したい人には・・・「読み書きクラス」  
 たくさん話したい人には・・・「にこにこ話そうクラス」  
 もっと日本語が上手な人には・・・「スケジュールクラス」

申し込み、質問は・・・

石川県国際交流協会 (IFIE) 中島、今井  
 920-0853 石川県 金沢市 本町 1-5-3 リファーレ3階  
 (金沢駅東口 歩いて5分)  
 電話 (TEL) : 076-222-5931 ファックス (FAX) : 076-222-5932  
 メール (E-mail) : ijsclass4@ifie.or.jp



# 日本語サポーター研修会 活動報告会

平成26年3月7日(金)

14時~16時

会場： 白山市国際交流サロン

(白山市古城町2番地 白山市松任文化会館2階)

報告者： 白山市国際交流協会、輪島日本語教室、  
珠洲市日本語教室

申込み： (公財) 石川県国際交流協会 今井まで

[koshi1@ifie.or.jp](mailto:koshi1@ifie.or.jp) 076-222-5931

\*会場に定員があるため、電話またはメールでお申込みください。

(公財) 石川県国際交流協会では、平成25年度に日本語サポーター研修会を実施しました。その研修会を実施した教室が集まり、お互いの活動について報告、質問をし合い、教室間の交流、課題のシェアを進めることを目的とします。

内容：

- 各教室からの活動報告、提案など(3教室)
- グループに分かれてワークショップ形式での話し合い
- 全体会

(公財) 石川県国際交流協会

